

## なんでこんなアホなことになったのか？

written by テッシー

### 放射能測定 ～2度と原発なんて御免だあああ

東林間で30年営業されている「チャンプル」という老舗の自然食品店で、輪屋の野菜を測定してきました。輪屋の野菜（埼玉よりい輪組の野菜）は2検体、地表に出ている野菜の代表で、量的にも比較的たくさん食べる白菜と、根の物代表で大根。



先に結果を言ってしまうえばシロ。放射性物質は検出されずでした。よく使われる、この「検出されず（NDと表示されたりします）」っていう言葉の示す範囲が広く、測定装置によっては50ベクレル/kg以下なら「検出されず（ND）」になります（49ベクレル/kgでも）。無茶苦茶にひどいケースでは、国の基準以下は「不検出」と言っている場合もあるようです。ちなみに、現在は食品の規制値は500ベクレル/kg、4月からは100ベクレル/kgになります。この規制値も無茶苦茶にひどい話です。

食品の放射能検査をしている業者でも50ベクレル/kgなら「不検出（ND）」といっているところもありますし、多くは20ベクレル/kg以下なら「不検出（ND）」で、あたかも0のように感じさせてしまいます。「まったく0です」というには、それなりの装置と時間が必要になります。何百万円、何千万円の装置で24時間以上・・・みたいなことになるので、通常の食品検査は1検体20分前後ということが多いようです。今回は1検体30分の測定でしたので、0です！！とは言えませんが、測定をしているチャンプルのオーナー高岡さんにも「5ベクレル以下です！！とは言っても良いでしょう。」とお墨付きをいただきました。



測定のために1検体につき約1kgが必要になります。今回は比較の為にスーパーの野菜も持って行ったのですが、同じ白菜1個でもこんなに重さが違うのかと改めて感心しました。輪組の野菜は採りたてであることもありますが、とにかくズッシリ。量り売りで見たい目よりも高く感じることもあるのもそのせいですね。そう考えると輪屋の野菜って結構安いな～とスーパーの野菜を久し振りに見てつくづく感じました。味だけでなく、ビタミンやミネラルの量から考えても桁が違います。話しがそれでしたが、1kgの野菜を刻んで、フードプロセッサーでドロドロにして、空気が入らないように装置に入れて測定します。このあたりのやり方で、検査結果に違いが出てくる（検出されたようになることが多い）そうです。



測定している間は、次の検体の準備などをするわけですが、その間に高岡さんとお話する機会をいただきました。8か月のお孫さんを段ボールに入れて（うちでも、ほんの数年前にあった光景で懐かしかった）、その横で放射能の測定をするおじいちゃん・・・「孫に食べさせられないものは売る訳にはいかねえ。」っておっしゃってました。あ～それは輪屋も一緒だなあ・・・福ちゃん（うちの5歳の子供）に食べさせられないものは、みなさんにお売りすることはありませんよ！！それがうちが出来る精一杯の放射能対策なのかもしれないね。